

解析・幾何合同セミナー

不変擬準同型入門


講師：見村万佐人（東北大学）

日時：6月23日（木）16:20～17:20

場所：理学部1号館321室

ϕ が群 G 上の擬準同型とは、 G 上の実数値関数であって準同型の条件を一様有界な誤差で満たす、つまり、 $|\phi(gh) - \phi(g)\phi(h)|$ が G の元 g, h に関し一様有界であることをいいます。 G 上の擬準同型全体のなす（実ベクトル）空間を真の準同型と（適切な意味で）近いもののなす部分空間で割った空間は 2次の有界コホモロジーと関係する興味深い空間なのですが、多くの自然な例で消滅するか無限次元空間となるかになってしまいます。"非自明なものが現れ、しかも、それらを分かりつくすことができる"というのは数学の大きな楽しみであり、その意味ではこれは残念なところがあります。

川崎盛通さん（青山学院大学）、木村満晃さん（京都大学）、松下尚弘さん（琉球大学）、丸山修平さん（名古屋大学）との共同研究で、群 G とその正規部分群 N の組に対し、 G の（共役）作用で不変な N 上の擬準同型の研究を進めています。この枠組みでのいろいろな研究成果を、曲面群などの例やシンプレクティック幾何への応用も交えて概説します。この比較的新しいトピックの入門となるよう、専門的な予備知識などを特に仮定せずお話しします。興味をお持ちの方はぜひお越しください。

オンラインで参加される場合は、ご登録をお願いします。 



問い合わせ先：松井宏樹
matui@math.s.chiba-u.ac.jp